

「平成27年度危険物安全週間」推進行事の実施結果

危険物保安室

消防庁では、危険物を取り扱う事業所における自主保安体制の確立を図るため、毎年6月の第2週（平成27年度は6月7日（日）から6月13日（土）までの7日間）を「危険物安全週間」として、危険物保安に対する意識の高揚及び啓発を推進する様々な行事を開催しました。

◇危険物安全大会

6月8日（月）に開催した「危険物安全大会」では、危険物保安功労者等消防庁長官表彰式及び記念講演が行われ、開会にあたり坂本森男消防庁長官が式辞を述べました。



危険物保安功労者等の受賞者の皆様

●消防庁長官式辞

平成27年度危険物安全大会表彰式を挙げるに当たり、一言ごあいさつ申し上げます。

本日の表彰式は、危険物を取り扱う事業所の皆様における保安体制の一層の充実や、国民の皆様の危険物の保安に関する意識の向上を目的とした、危険物安全週間の行事の一環として行うものです。

本日、表彰を受けられる皆様方は、これまで危険物の保安に努めてこられた方々であり、その御功績に対し、深く敬意を表する次第です。

さて、近年、危険物施設における事故件数は高い水準で推移し、死傷者を伴う重大事故も発生しています。

危険物施設における主な事故原因は、設備の腐食劣化などの物的要因や、操作確認の不十分・監視不十分などの人的要因が挙げられます。特に重大事故の背景要因を見ると、熟練者の退職や設備の自動化などにより、職場の危険予知能力の低下、危険物の性質や装置についての理解不足、緊急時の対応能力の低下等が指摘されています。

危険物事故はひとたび発生すると、甚大な被害をもたらすおそれがあります。事故を未然に防ぐことが最も重要であることは言うまでもありません。このためには、マニュアル手順の背景にある原理原則の理解、いわゆるノウ・ホアイ（know-why）の理解促進により、リスクに気づく感性のある人材を育成することや、過去の事故事例・良好事例を検討し、実効性のある活用方策を実施することなどの自主的な事故防止の取組が、保安体制の充実には不可欠であると考えています。

こうした取組を積極的に行われている、本日受賞されます皆様方には、引き続き危険物の保安体制の充実強化に向けて、更なるご活躍と、地域社会の安全への一層の御貢献を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

結びに、御出席の皆様の御健勝と御発展を心からお祈り申し上げます、式辞といたします。



危険物安全大会における坂本森男消防庁長官式辞

●消防庁長官表彰

- 1 危険物保安功労者（個人）
21名
- 2 危険物保安功労者（団体）
2団体
- 3 優良危険物関係事業所
31事業所
- 4 危険物安全週間推進標語
「無事故へと 気持ち集中 はっけよい」
梶 政幸氏
- 5 危険物事故防止対策論文
『資料等による確認を要する変更工事の届出に係る認定制度の提案～自主保安と効果的な規制のベストミックスによる石油コンビナート地域の事故防止対策～』
堺市消防局予防部危険物保安課
木塚 暁喜氏



危険物保安功労者等の表彰

●記念講演

室崎 益輝氏
 (公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 副理事長兼研究調査本部長)
 「大震災の教訓と減災の考え方」



室崎 益輝氏による記念講演

◇危険物施設安全推進講演会

6月9日(火)(東京会場)及び11日(木)(大阪会場)に開催された「危険物施設安全推進講演会」では、危険物関係事業所の従業員や消防関係者を対象として、基調講演及び事故事例発表が行われました。

●基調講演

林 光一氏
 (青山学院大学理工学部機械創造工学科教授)
 「インフラ整備における安全対策から得たもの」

●事故事例発表

真弓 明之氏
 (四日市市消防本部予防保安課課長補佐)
 「多結晶シリコン製造施設付属機器の爆発火災事故について」

●災害防止に向けての取組み

岩間 啓一氏
 (石油化学工業協会技術部長)
 「産業保安に関する行動計画」



林 光一氏による基調講演(東京会場)

このほか、各都道府県及び全国の消防本部においても講演会、研修会、広報・啓発活動、立入検査、消防訓練、表彰式等の様々な行事が行われました。

問合わせ先

消防庁危険物保安室 企画係 佐藤・高部
 TEL: 03-5253-7524